

宮崎県総合博物館

宮崎県周辺海域におけるクラゲ・ウミウシ・サンゴ類の分布 及び生態と環境保全教育プログラムの構築について

調査研究期間：2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日）



アオウミウシ



ニホンベニクラゲ



アカエラミノウミウシ



オオトゲキクメイシ



ミスクラゲ採取

【調査研究の内容・目的】

- 宮崎県周辺海域では多くの種類のクラゲやウミウシ、サンゴが生息しており新種も発見されているが、県内における生態分布や他地域との比較データがない。また、展示物も乏しく、来館者の期待に応えることができない現状があるため、調査研究のテーマとした。
- 宮崎県周辺海域に生息するクラゲやウミウシ、サンゴ類の再整理を行い、海へ出かける時に持って行けるハンドブックや出前授業でのワークシート、生態貸出キットの製作を行った。
- 成果物によって、宮崎の海が育む自然の豊かさに気づき、大切にしていこうとする姿勢を育てる。また、生体展示を通して、「生きているもの」は大変興味深い対象であるため、海の不思議さや神秘性に関心をもつ子どもが増えることをねらいとする。

1. 調査研究内容の詳細

【調査研究代表者】

- 田口 道士（宮崎県総合博物館・主査）
- 竹下 隼人（宮崎県総合博物館・主査）

【実施計画】

- 1カ年計画1年目

【主な調査研究対象など】

- 宮崎県周辺海域に見られるクラゲ（季節ごとに観察できるクラゲ）
- 宮崎県周辺海域に見られるウミウシ（干潮時での観察・潜水による観察）
- 宮崎県周辺海域に見られるサンゴ（オニヒトデによる被害状況）



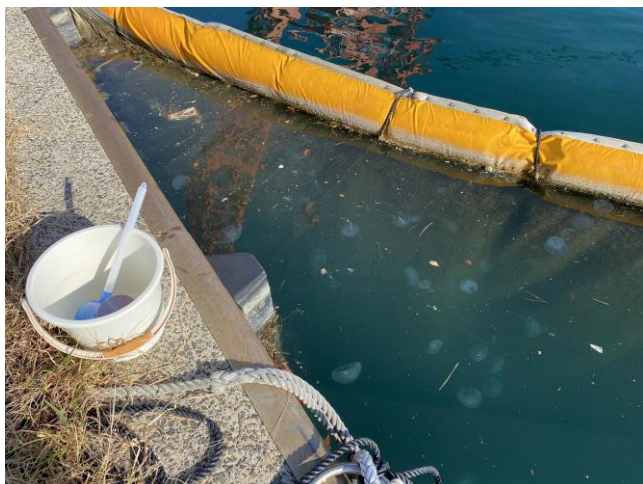
宮崎市内海海岸（1-①）



日南市大島周辺（1-②）

宮崎県沿岸海域（宮崎市内海海岸・日南市大島周辺）に生息する、クラゲ・ウミウシ・サンゴ類を調査研究の対象として、干潮帯や潜水による分布調査や生態調査を月1～2回の頻度で定期的に行った。

それにより、他県と比較して、季節的な出現の変動はあるものの、南方系の種がいくつか存在しており、温暖で恵まれた海や漁場環境があることが分かった。また、今回の調査研究結果により、学校現場の授業をはじめ、子どもたちの探求活動や特別活動などの時間で大いに役立つことが見込める。



クラゲ採集の様子（日南市）（2-①）



サンゴ類の調査（日南市）（2-②）

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



ウミウシ採集の様子 (3-①)



ウミウシ採集の様子 (3-②)

ウミウシの生態調査からそれぞれの種ごとにエサ環境が大きく異なり、肉食性や草食性といった棲み分けも県内沿岸で見られることが分かった。

クラゲ・ウミウシについてのアンケート調査を宮崎市内の小・中学校児童・生徒を対象に実施した。その結果から、クラゲは圧倒的にその生態の認知度や興味・関心が高いことが分かった。一方、ウミウシについてはクラゲと対照的で、興味・関心度がかなり低い結果となり、原因として、認知度の低さやイメージによる影響が大きいことが分かった。しかし、ウミウシを実際に見たことがない子どもたちが多く、学校へのウミウシ飼育水槽の貸出し事業や出前授業などが子どもたちの興味・関心を高める効果が高いことが分かり、海の学びを生み出す成果となった。



授業支援の様子 (4-①)



貸出し飼育用水槽 観察の様子 (4-②)



中学校への授業支援として、職業講話も実施した。これは、学芸員の仕事について語る機会があったが、その中で「海の学び」と関連付けて紹介することで、生徒はミュージアムの業務だけでなく、海への興味・関心を高めることができた。教科の授業支援だけでなく、すべての学習に関連した「海の学び」が今後実施できるため、継続して行っていきたい。

授業支援の様子 (4-③)

2. 本調査研究成果を基に計画・実施可能な 「海の学び」に繋がる博物館活動案

- 博物館活動の形態：毒をテーマとした企画展
「毒モンスター水族館～海のキケンな生きものたち～」
- 実施時期：2024年7月～9月（予定）
- 実施場所：宮崎県総合博物館 特別展示室

【実施内容】

■本企画展は、海に生息する「毒」をもつ多様な生きものたちを中心に展示し、有毒生物の多様性や自然界での生き残りをかけた様々な戦略などを紹介する。また、私たちがこれらの生きものたちと今後どのように関わっていくべきか、環境問題や食文化、薬など自分たちの身近な生活と関連して考えてもらう機会とする。

【他の博物館・機関や地域社会との連携や取り組み内容】

- いおワールドかごしま水族館
クラゲ・ウミウシにおける展示協力および博物館講座「ウミウシ観察会」「クラゲ講話」における講師
- 宮崎大学
展示の協力および博物館講座「アニサキス観察会」「ひむかの魚と毒」の講師
- ミュージアムパーク茨城県自然博物館・群馬県立自然史博物館・きしわだ自然資料館
展示資料借用など

【特に学校教育との連携について】

- 宮崎県立海洋高等学校
生体展示での協力
- 宮崎県立佐土原高等学校
海洋ゴミアートタイトルの展示協力
- 宮崎大宮高等学校
高校生（サメ博士）の展示協力
- 県内高等学校
探究活動での博学連携
- 県内中学校・小学校
職業講話や教科での授業支援
総合的な学習の時間における調べ学習支援など

【事業全体のまとめ】

今回の調査研究サポート事業を活用したことによって、これまで不十分であった宮崎県内に生息するクラゲ・ウミウシ・サンゴ類の分布が明確になってきました。また、他地域との比較を行うことで、宮崎県の海の豊かさや環境保全の重要性をあらためて実感しました。調査したことや分かったことをまとめたハンドブックやワークシートを用いて、各教科の事業支援などを展開し、子どもたちに宮崎の海の魅力を伝える絶好の機会となりました。さらに、授業だけでなく、ウミウシの飼育用水槽を、学校へ貸し出して展示したことによって、子どもたちが、より身近に海の生き物を観察できる機会が増えました。今後、実際に海へ行って、調べてみたいことや海に触れる人が増えるきっかけになったと思います。自分の目で海を見て、今の海を知り、これから海の環境を守っていく人を育てる上で大変意義深い事業となりました。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 宮崎大学	サンゴ類の学習支援監修等
2. 都城市立西中学校	職業講話・理科授業学習支援
3. 宮崎市立大宮中学校	水槽貸出し・理科授業学習支援
4. いおワールドかごしま水族館	クラゲ・ウミウシの生態や分布について
5. きしわだ自然資料館	ウミウシの保存方法について

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 令和5年度宮崎県総合博物館研究紀要	「宮崎県南部沿岸におけるウミウシ類の調査報告」 2024年3月25日